

組合だより

【 第282号 平成29年12月 日本羊腸輸入組合 】

平成29年11月の活動報告

1. 理事会・委員会関係

- 11月は、理事会及び委員会の開催はありませんでした。
- 11月14日、組織・財政委員会委員に対し、平成30年度の賦課金増額案（再検討案）を送付し、意見提出を依頼しました。これは、10月25日に開催しました第3回組織・財政委員会での議論を踏まえ、事務局で再検討を行うこととしたものです。

2. 事務局関係

- 動物検疫所長からの周知依頼
11月27日付けで中国の塩蔵天然ケーシング加工・保管施設の指定（1施設）について周知依頼がありましたので、組合ホームページに掲載しました。この結果、中国の指定施設は50施設となっています。
- 東京税関成田航空貨物出張所長、動物検疫所成田支所長訪問
11月15日、川村理事長・遠藤副理事長等が、成田検査所の閉鎖に伴いこれまでの業務協力への御礼挨拶のため訪問しました。
- 乙仲3社訪問
11月7～8日、依田専務理事等が、消毒検疫の廃止に伴いこれまでの消毒受付業務協力への御礼挨拶を行いました。
- 国内・海外事業者対応
 - 国内（1社）：ケーシング輸入制度の説明等
 - モンゴル（2社）：ケーシングの対日輸出相談等
 - パキスタン（1社）：加工・保管施設の調査に関する情報提供
 - 米国（1社）：中国の加工・保管施設の指定に関する情報提供

○経済産業省、農林水産省との意見交換

中国、パキスタン、モンゴルの加工・保管施設調査の状況及び消毒事業の廃止後の組合現況について、意見交換を行いました。

○八幡橋消毒所の閉鎖準備

10月16日をもって消毒を必要とする衛生条件が失効しました。これに伴い最後に残った八幡橋検査所の閉鎖作業に取り組んでいます。

3. 統計関係

【財務省貿易統計】

平成29年10月の天然ケーシングの総輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 305.1 t (前月比 Δ 0.5 t、 Δ 0.2% / 前年同月比+ 5.2 t、+ 1.7%)
- ・中国原産 237.9 t (" +39.4 t、+19.8% / " +44.9 t、+23.3%)
- ・豪州原産 25.7 t (" Δ 22.0 t、 Δ 46.2% / " Δ 45.7 t、 Δ 64.1%)
- ・NZ原産 35.6 t (" Δ 23.9 t、 Δ 40.2% / " +12.5 t、+54.2%)

【組合報告統計】

平成29年10月の輸入数量は、次のとおりです。

- ・報告数量 合計：878, 860ハクス
(羊腸：862, 450ハクス、豚腸：16, 410ハクス)

*詳しくは組合ホームページをご確認ください。

今後の主な予定

- 12月 中旬 来年度賦課金額に関する意見照会の実施
- 12月20日(水) 第2回理事会
- 1月17日(水) 第3回理事会 / 第4回組織・財政委員会
- " 平成30年賀詞交歓会
- 3月14日(水) 第5回組織・財政委員会 / 第4回理事会

事務局から

○12月4日付け理事長書簡により全組合員を対象とした賦課金増額に対する意見照会を行います。

これまで、第54回通常総会の決議に基づき「組織・財政委員会」において、

当組合の今後の在り方を検討してまいりましたが、組合の維持・活動のためには、賦課金の増額は避けられません。組合員の皆さんから御意見をいただき、同委員会の中間報告案に反映させることが目的です。

師走のお忙しい中ですが、忌憚のない御意見をお寄せいただきたくお願いいたします。

○今年は、当組合が半世紀に亘って担ってきた「消毒」検疫が不要となり、これにより従業員の解雇、3検査所の閉所という大変革がありました。また、動物衛生条件の変更により組合員の皆さまの事業計画にも大きな影響を及ぼすこととなりました。事務局として天然腸の安心安全な供給、安定した供給への影響を懸念しておりましたが、組合員・従業員及び関係者の御協力の下で大きな混乱なく役割を果たすことができたものと考えております。

ここに改めて御礼申し上げます。

○平成30年賀詞交歓会を新年1月17日に開催いたします。御案内状は12月中旬にお手元に届くよう準備しております。組合員関係者の多くの皆さまに御参加いただき、懇親を深めることを希望いたします。

以上